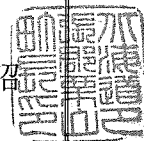


平成20年10月14日

栗山町長 椿 原 紀 昭



平成20年9月19日付国道企第37号を以って通知ありました標記のことについて、別紙のとおり回答しますのでよろしくお願いいたします。

別紙

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般についての改善すべき点、要望や提案など

北海道栗山町

今回の道路行政に関する依頼文の道路特定財源等に関する基本方針のなかで、特別会計関連支出の無駄を徹底排除すると明記されていましたが、困難性を伴うでしょうが国民の理解を得る中でも徹底した実行を望みます。

同じく基本方針のなかで、必要と判断される道路は着実に整備するとし、道路の中期計画は5年とし、最新の需要推計などを基礎に新たな整備計画を策定するとされていますが、財政的な見直しに済ませず判断手法を不要不急の的確なものと考えますよう望みます。

また北海道に目を移すと北海道開発局の存在があり、政府の地方分権改革推進委員会の勧告で国の出先機関の大幅な見直しを求められているところです。

北海道開発局については北海道の開発に大きな貢献をしてきましたし、道内は広大な面積を有することから、道路整備あるいは維持面からも他の地域にはない特殊事情がありますので、性急な判断に頼ることなく十分な論議を得る必要があると考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②-1 地域の現状と抱える課題

北海道栗山町

○現状 ・整備計画の変更について 地域の状況をみますと、以前からあった道路整備計画が見直されたため、整備が進まなくなり取り残された状況となっています。 （具体的には、国道234号線の栗山～由仁のバイパス道路） ・地域公共交通の見直し 北海道内における地域交通は、人口集中地域を除きほとんどがバス交通に頼っているのが実情ですが、人口減少による利用者減になり収益減少という悪循環のため、維持するのが困難な状況となっています。 ・主要地域を結ぶ幹線道路の早期整備	○課題 国道234号線は産業道路であり、大型混入率が多く交通安全上に於いても早期にバイパス整備を要望する。 本町においても地域にあったバスの運行手法を見直すなかで、国土交通省の地域交通活性化・再生事業の適用を受け検討中ですが、取り組み自治体が多いため更なる補助金の増額を望みます。 （コミュニティバス、デマンドバス等の検討） 国道337号の整備（石狩市～江別～千歳市）
---	--

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②－2 地域の目指すべき未来像

北海道栗山町

北海道は広大な国土面積を有し、各地域内の町道、市道は国道・道道などの幹線道路と交通結節することで支えられています。
さらに北海道は食料自給率200%をこえ、日本全国の食料基地としての存在意義は大きなものとなっていますが、物流面を根底で支える道路網の重要性は従来よりも増しています。
そのような従来の交通量を踏まえた道路整備のほかに、観光地は景観を生かした道路整備など、地域の特性、実情に即した特長ある道路網の整備・充実が求められてくると考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路政策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

北海道栗山町

○重点事項 ・利用されなくなった 道路形態の改善	○代表事例 跨線橋の撤去(国道234号線 栗山町角田地区) 旧私鉄が廃線となり、従来あった跨線橋が不要となっている。 冬季間のスタッドレスタイヤの普及により、吹雪時のスリップ等 による事故が発生している。	○期待する効果や評価等 跨線橋によって分断されている地域の接 続が確保される。 車両通行の安全が確保される。	○その他